## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山平田校

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0			法令を遵守したスペースを確保しています。
・体制整備	2	職員の配置数は適切であるか			0	現在は法令で必要とされる最低人員で運営しております。今後追加の職員を配置する予定であります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか			0	バリアフリーではありません。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	0			定期的に職員会議を開いています。
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	0			アンケートを実施し、結果をもとに話し合います。
業	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか	0			ホームページで公表しています。
務改善	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			0	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。 第三者に よる外部評価については、現在実施の予定はありませ んが、 今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			0	現在は最低人員で運営している為、積極的な参加 が難しいが、内部研修を行ったり、他校舎で開かれる 研修にSKYPEを通し参加することで学びの機会 を確保するよう努めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	0			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
適	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか	0			全国の「きらり」で共通し利用している「受付シート」も 用いてアセスメントを行っております。
切 な	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0			お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。
支援の	12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0			季節の話題を取り入れたり、体を動かすプログラムや プリント教材などをバランスよく取り入れたりすることで、 工夫しています。
提供	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
	<b>14</b> )	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	0			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。

						1
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	0			朝礼を毎日実施し、職員間での情報共有をおこなっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	0			個別で支援を行っているが、他の指導員の支援を見 学して様子を確認したり、気になったことや結果につい ては職員間で共有しています。19時終了の支援後は 時間がないため、後日に振り返りを行っています。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	0			毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や 取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を 更新しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	0			現在は3か月に一回しています。 必要に応じて見直しもします。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	0			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と 短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	0			可能な限り、調整をして児発管と担当指導員が参加できるようにしています。
関係機関	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	0			利用者の希望等があれば状況に応じて行います。
や保	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		0		現在は医療的なケアが必要な利用者はいません。
護者と	3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか	0			利用者の希望等があれば状況に応じて行います。
の連携関	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか		0		利用者の希望等があれば状況に応じて行います。
係機関	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		0		研修等には参加できるように努力しています。連携 については利用者の希望等があれば状況に応じて 行います。
や保	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0			子育て支援センターと合同でイベントを開きました。
護者	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか			0	参加実績はありません。
との連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	0			支援後は保護者とフィードバックをする時間を設けています。
3/3	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか	0			保護者が家庭で行っていることに対しての助言をしたり、支援の目的や結果に対する説明を行うことで、家庭での対応や保護者の視点に反映できるようにしています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	0		契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0		相談には可能な限り随時応じるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		0	保護者会は現在行えていませんが、地域の行事案 内は行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0		苦情の相談窓口のご案内をしております。
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	0		ブログや掲示板を活用し情報発信をしております。
	35)	個人情報に十分注意しているか	0		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに 保管しています。また、個人情報にアクセスできる 端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	0		お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他 視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達 等を実施しております。
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		0	地域のイベント情報を掲示したり発信する事で地 域貢献に努めています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	0		マニュアルを策定し、継続して研修を実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	0		月に一回防災訓練を実施しています。
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	0		マニュアルを策定し、内部研修の実施や外部研修への参加を行っています。
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0		マニュアルを策定し、研修を実施しています。行う場合は個別支援計画の特記事項にも記載し、同意を得ます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	0		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認 し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留 意しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか	0		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 平成 31 年 2月9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 岡山平田校

**保護者等数(児童数) 52 回収数 13 割合 25 %** 

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	12	1		
<b>体</b>	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2		
制整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか	4	8	1	施設環境面で改良すべき点が発生した場合には その都度対応させていただきます。
適切な	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	13			
支援	(5)	活動プログラム <sup>  </sup> が固定化しないよう工夫されているか	12			
の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	9	事業所内では交流の場を設ける予定はないが、地域の行事の行い等を行っていきます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	12	1		共通理解の上で支援が進められるようにしていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2		
保護者	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	1	5	7	事業所内では交流の場を設ける予定はないが、地域の行事の行い等を行っていきます。
へ の 説 明	(1)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2		
等	12)	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	12	1		
	(13)	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	6		
	14)	個人情報に十分注意しているか	11	1	1	書類の取り間違えが無いようにダブルチェックを徹底します。

非		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対				
常	15)	応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて	10	3		
時		いるか				
等						
の	<u>(16)</u>	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、そ	4	8	1	毎月1度、防災訓練を実施しています。皆様に分かりやすい工夫をしてお知らせを行いま
対	(10)	の他必要な訓練が行われているか	4	٥	1	す。
応						
満	17)	  子どもは通所を楽しみにしているか	10	3		
足						
度	18	事業所の支援に満足しているか	12	1		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。